

# 水稲・大豆の生育と管理

令和5年9月号  
大分県北部振興局集落営農・水田畑地化班

## 水稲の病害虫防除

### ◎秋ウンカ（トビイロウンカ）の防除

本田移植後に海外から飛来、9～10月ごろの第3世代になると急激に増殖、1株100匹以上になると坪枯れを引き起こします。6月30日以降、西九州各県においてトビイロウンカが初誘殺されています。田の中央部の発生状況を十分注意し、防除を行う際は薬剤が株元まで届くように散布しましょう。

防除適期は第二世代幼虫が8月下旬～9月初め、第三世代幼虫が9月下旬頃の予測です（7/12時点）。



株元に生育するウンカ類↑

基幹防除（穂ばらみ期、穂揃い期）を徹底しましょう！  
8月下旬以降の要防除水準： **1株あたり1頭以上**

### ◎斑点米カメムシ類の防除

吸汁加害により品質低下を引き起こします。畦畔の草刈りで被害を抑えることができるので、**出穂期の10日前までに草刈り**を行いましょう。それ以降に行うとカメムシが水田に逃げ込み、被害を助長させてしまいます。

薬剤による防除は**穂揃い期とその7～10日後の2回**行いましょう。



カメムシ被害粒↑

### ◎穂いもちの防除

葉に病斑が見られたら防除しましょう。穂いもちの防除は「**穂ばらみ期+穂揃い期（どちらも液剤又は粉剤）**」の2回散布が効果的です。

大分県農林水産研究指導センター農業研究部病害虫対策チームホームページ（左下のQRコード）から「葉いもち」の発生予測を確認できます。



← 葉いもちの病斑

### 【ウンカ類、カメムシ類、いもち病の防除薬剤】

薬剤名	適用病害虫名	使用時期	10aあたり 使用量	希釈倍率
ブラシンバリダ フロアブル	いもち病、紋枯病 ごま葉枯病	収穫14日前 まで	60～150 L	1,000 倍
スタークル液剤10	ウンカ類、カメムシ類	収穫7日前 まで	60～150 L	1,000 倍
ダブルカット スタークル粉剤D L	いもち病、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ、カメムシ類	穂揃い期 まで	3～4 kg	—
キラップ粉剤DL	ウンカ類、カメムシ類	収穫14日前 まで	3～4 kg	—

※薬剤ごとに使用時期、使用量をラベル等で確認し使用しましょう。



☆トビイロウンカ等防除技術データとイネ葉いもち発生予測モデル BLASTAM  
大分県農林水産研究指導センター農業研究部病害虫対策チームホームページ  
<http://www.jpnpn.ne.jp/oita/>（左QRコード参照）で確認できます。

# 大豆の病害虫防除

## ◎紫斑病とカメムシ類防除・・・基本は2回防除

カメムシと紫斑病は同時防除しましょう！

1回目：幼莢期（多くの莢が1cm程度、9月上～中旬）

2回目：1回目の10日から2週間後

紫斑病は種子伝染します。

発生した場合は、自家採種せず種子更新を行きましょう。



↑大豆の幼莢期

### 【紫斑病とカメムシの防除】 ※1回目と2回目の薬剤を変えましょう

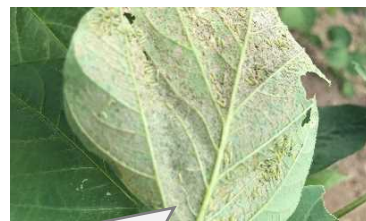
	薬剤名	希釈倍率	10aあたり 散布液量	対象病害虫	使用時期
1 回 目	ニマイバー水和剤	1,000～2,000倍	100～300L	紫斑病	収穫 14日前まで
	キラップフロアブル	2,000倍	100～300L	カメムシ類	
2 回 目	アミスター20フロアブル	2,000～3,000倍	100～300L	紫斑病	収穫 7日前まで
	スタークル液剤10	1,000倍	100～300L	カメムシ類	

## ◎ハスモンヨトウの防除…白い葉が防除の目印

ハスモンヨトウは大きくなると薬剤が効きにくくなるため、**若齢幼虫期の薬剤防除が重要**です。

日中は下葉の陰や土中に潜み、夜活動します。**薬剤防除は夕方**に、葉の両面にかかるよう散布しましょう！

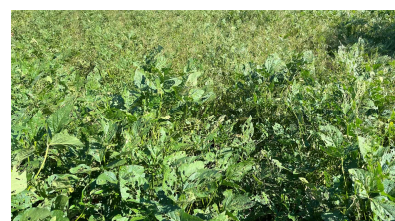
ハスモンヨトウの食害による  
ダイズの白変葉↓



若齢幼虫のついた白変葉は  
圃場から取り除きましょう

## ◎ミツモンキンウワバ

昨年はミツモンキンウワバが多発し、局所的に食害の著しいほ場が発生しました。**ミツモンキンウワバの摂食スピードは速く、葉の太い葉脈を残して急激に食害が進みます。**



↑ミツモンキンウワバの老齢幼虫    ↑ミツモンキンウワバの食害    食害多発ほ場（ミツモンキンウワバ）↑

蛾の幼虫による食害が確認されたら、ハスモンヨトウに登録のある薬剤で防除を徹底しましょう。

### 【ハスモンヨトウの防除薬剤】 ※1回目と2回目の薬剤を変えましょう。

薬剤の特徴	薬剤名	希釈倍率	10aあたり散布量 (使用量)	使用時期
脱皮阻害剤	ロムダン粉剤DL	—	4 kg	収穫14日前まで
長期残効剤	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	100～300L	収穫7日前まで
	プレバソソフロアブル5	4,000倍		

## ☆農薬の適正使用を徹底しましょう！

農薬の使用は農薬取締法、残留農薬は食品衛生法により規制されています。食品衛生法では、全ての農薬等について、**基準を超える残留農薬がある場合、販売を禁止**することとなっています。農薬を使用する際はラベル等をよく読み、使用時期や使用量、使用回数を確認し、適切に使用しましょう。